

国保の都道府県単位化、 地域医療構想に関して

県医務国保課との懇談が行われました

来年度から実施される予定の国民健康保険の都道府県単位化に関して、香川県から、国保の運営方針の素案と、市町に提示する保険料基準額の仮試算が提示されたことを受けて、8月31日、香川民医連が事務局を担当している香川県社保協による、県の医務国保課との懇談が行われ、社保協からは12名が参加しました。

県からは、保険料の試算方法についての説明の他、国が目指している県単位での保険料の統一化について、「香川県は、市町間での医療費水準や保険料に一定の格差があるため、当面の統一化は困難」との回答の一方、市町での医療費抑制や保険料徴収の強化につながる恐れのある仕組みの導入については「必要」との意向が出されました。これに対し、社保協からは、「県民の生活実態を踏まえて、払える保険料となるよう、他の財源から充当するようなことも考えるべき」「財政論議ばかりに終始するのではなく、運営方針に国



保は社会保障であることを明記して欲しい」ことなどを要望しました。

また、地域医療構想への対応についても意見交換を行い、県からは、県内の医療機関を対象に7月に実施したアンケート結果をもとに、10月に調整圏域ごとの会議を予定していること、少なくとも今年度中は、具体的病院名を挙げた病床調整の協議は難しいと考えているとの回答がありました。

(県連事務局 辻井正基)



リレー投稿

安倍首相が5月に、憲法9条に自衛隊を認める文章を入れたいと発言したことはよく知られていますが、彼らは突然言ったわけではなく、淡々といろんなところから地固めをしながら進めていっていることを最近実感しています。

昨年から話題になっている森友学園ですが、安倍首相と仲良しだったらしいのですが、「日本会議」という団体で仲良しだったようです。愛媛の獣医学部問題での加計さんも「日本会議」つながりのようです。「日本会議」は憲法を変えたい団体です。

森友学園の幼稚園で、教育勅語を子供たちが暗唱している様子をテレビでよく見かけましたが、かなりの違和感を感じました。教育勅語って難しそうな感じを並べた呪文のようにはか理解していなかったのですが、その内容は、「天皇が日本を作ったこと、天皇の家来である国民は、父母兄弟夫婦を大事にし、勉学仕事に励み、公共の利益と社会の勤めを果たし、最も重要なことは、戦争になれば天皇・国家のために戦うのです」といった内容のようです。こんな文章をこどものころから覚えさせられ、お国のためにという思いから、戦争で亡くなった方がたくさんいるのです。

その反省の中で、日本国憲法が1946年に公布されます。その教育の実践として1947年に教育基本法ができあがりました。1948年に教育勅語も衆議院で排除宣言をしています。なのに、2017年3月31日、「憲法や教育基本法等に反しないような形で教育勅語を教材として用いることまでは否定されることではない」という閣議決定をわざわざしたようです。また、「ヒトラーの自伝著書も、留意すれば教材で使ってもよい」と2017年4月に閣議決定しています。学校の教科書は、ここ数年おかしなものがでてきましたが、ますますこどもたちにおかしな押し付けが増強しています。まさに教育勅語の世界を再現して、戦争になっても頑張る国民づくりに頑張っているのです。

子どもたちの将来のためにも憲法は、変えてはならないと思っています。

(高松平和病院リハビリテーション科 大西和子)

安倍 改憲に

物申す



一言